

【責任者向けプログラム】

令和8年度 第1回（5月開催）

サイバーレックス

# 業界別サイバーレジリエンス強化演習 CyberREX

ご案内資料

## 対象業界

電気、ガス、電気通信・放送、鉄道、  
道路、物流、スマートモビリティ、  
自動車(製造部門)、船舶(製造部門)、  
FA・半導体(製造部門)

※ 詳細は次ページの「対象業界・対象者」をご覧ください。

令和8年2月

独立行政法人情報処理推進機構  
産業サイバーセキュリティセンター

※CyberREX : Cyber Resilience Enhancement eXercise by industry

※本演習は、情報処理安全確保支援士（登録セキスペ）の  
「実践講習」としても参加できます。

<https://www.ipa.go.jp/jinzai/riss/forriss/koushu/jissen.html>

**IPA** Better Life  
with IT



# 開催概要

## 業界特性を意識した経営課題解決のためのセキュリティ戦略 高まる「サイバーインシデント」の脅威、あなたの部門の備えは万全ですか？

### 対象業界・対象者

- 対象業界**：電力、ガス、電気通信・放送、鉄道、道路、物流、スマートモビリティ、自動車(製造部門)、船舶(製造部門)、FA・半導体(製造部門)  
(上記に係る制御システムのユーザー企業・系列企業、当該制御システムのハードウェア/ソフトウェアベンダー企業が対象)
- 対象者**：上記企業において下記の方が対象
  - ✓ CISOに相当する役割を担っている方
  - ✓ IT部門、生産部門などの責任者・マネージャークラスの方

※ 本演習は、日本の社会インフラ・産業基盤を守ることを目的に設計されたプログラムです。日本の産業システムに関わる企業に所属し、日本国籍を有すること、募集の対象業界・対象者に該当することを条件としています。当該条件を満たさない場合、又は円滑な受講が困難と見なされる場合は、受講をお断りさせていただく場合がございます。予めご了承ください。

※ 身体の不自由な方は受講可能かどうかを事前にお問い合わせください。また、どのような配慮があるか、確認を希望される場合もお問い合わせください。

### 日程・会場

- 日程**：令和8年5月14日（木）～5月15日（金）
- 場所**：独立行政法人 情報処理推進機構  
東京都文京区本駒込2-28-8 文京グリーンコートセンターオフィス 8階  
【アクセス】<https://www.ipa.go.jp/about/ipajoho/location.html>

### 受講料・定員

- 受講料**：一般の方：8万8千円（税込）  
登録セキスペ（実践講習）：8万円（非課税）  
※受講料には、交通費・食事代は含まれません。
- 定員**：最大30名  
※定員になり次第、募集を締め切らせて頂きます。最少催行人数は10名です。

# 本演習の目的・特徴

## サイバーレジリエンスとは

サイバーセキュリティ・インシデントにかかる  
企業組織全体の**対応力・回復力・復元力**

### 目的

- サイバーレジリエンス能力を強化した人材を育成し  
企業組織の強靭化を図ること

### 特徴

- **業界別に仮想企業を想定したシナリオ**による  
実践的な演習形式を中心とするトレーニング
- **最新の国内外の事例や動向**を踏まえ、  
新規シナリオを隨時追加。企業の安全を確保するとともに、  
**情報処理安全確保支援士の実践講習**としても活用可能
- 海外子会社、系列企業、サプライチェーン等のビジネスパートナーが直面する  
**サイバーセキュリティ規制やガイドライン等**を解説する集中講義



演習の様子

### 過去の演習シナリオ例

- VPN装置の脆弱性とランサムウェア感染
- AI監視によるインシデント
- 帰省ラッシュ時におけるDDoS攻撃への対応
- Wi-Fiのクラウド型コントローラー
- セキュリティ情報のサプライチェーンへの懸念
- 外注先が用いていたBadSeek
- AI生成によるプログラムコードの脆弱性
- ブロードキャストストーム
- ドローンUTMへのDDoS

## 受講による効果

- 責任者クラスが認識すべき「サイバーセキュリティ課題」や「自社体制や規程等とのギャップ分析」への理解度および対応力の向上、「起こりうるリスクシナリオ」、「国内外の規制動向、海外事例」に対する知見の蓄積
- 受講者間および、講師・サイバーセキュリティ専門家・省庁など公的機関関係者との人脈づくり、ネットワークの構築

## 受講者の声

- 他社の方とディスカッションできたことが、非常に有益と感じました。
- 最新動向が整理されており、知識のアップデートに役立った。シナリオが実践的で良かった。
- 演習のテーマがたくさんの最新インシデントを事例にしており、有益であった。
- 実例をもとにシナリオが作成されていて、現実味があつて演習に没入しやすかった。
- 同業界の方々との討議では開示を憚ることなく正直に実状を話すことができ、大変有意義だった。
- 講義を通じて、報道やメディアからは知りえなかったインシデント事例や脅威を知ることができ、もっと目を向けるべき事項が多いことに気付かされた。
- 業態の近いメンバーでチーム議論ができたので、各社の取り組みや課題を共有しながら議論でき、非常に参考になりました。

# スケジュール（予定）

IPA

1日目 10:00～18:00		2日目 9:30～17:45	
10:00～ 11:00	<b>導入講義</b> <ul style="list-style-type: none"><li>– 本演習のねらい</li><li>– サイバーセキュリティとは</li><li>– インシデント発生動向</li></ul>	9:30～ 11:50 (休憩10分 含む)	<b>シナリオ3</b> <ul style="list-style-type: none"><li>– ディスカッション</li><li>– 発表資料作成</li></ul>
11:00～ 12:30	<b>シナリオ1</b> <ul style="list-style-type: none"><li>– 課題シナリオ選択</li><li>– ディスカッション</li></ul>	12:00～ 12:30	<b>グループ発表（2回目）準備</b>
12:30～ 13:30	<b>昼食休憩</b>	12:30～ 13:30	<b>昼食休憩</b>
13:30～ 14:40	<b>シナリオ1</b> <ul style="list-style-type: none"><li>– ディスカッション（続き）</li><li>– 発表資料作成</li></ul>	13:30～ 15:30	<b>グループ発表（2回目）</b>
14:50～ 15:50	<b>グループ発表（1回目）</b>	15:45～ 17:30	<b>集中講義・総合討論・全体講評</b> <ul style="list-style-type: none"><li>– 規制・ガイドライン解説</li><li>– 國際標準解説</li><li>– 本演習のまとめ</li><li>– 講師陣による講評</li></ul>
16:00～ 18:00 (休憩10分 含む)	<b>シナリオ2</b> <ul style="list-style-type: none"><li>– ディスカッション</li><li>– 発表資料作成</li></ul>	17:30～ 17:45	<b>IPA事務局からのご案内</b>

※一日の中で時間の区切りが変更する可能性があります。

※ 演習時に各グループで作成いただく発表資料は、開催報告書と併せて、演習開催後1か月以内に、受講者の方に送付する予定です。



## 門林 雄基

奈良先端科学技術大学院大学  
教授



## 宮本 大輔

政策研究大学院大学 政策研究科  
教授  
奈良先端科学技術大学院大学  
客員教授

- 産官学連携によるサイバーセキュリティ研究開発に25年以上、サイバーセキュリティ人材育成に15年以上にわたり従事
- 欧米セキュリティ専門機関とともにサイバーセキュリティ国際標準化を推進  
国際電気通信連合電気通信標準化部門(ITU-T)におけるサイバーセキュリティ作業部会の主査を2013年より務め、20件の国際標準を成立
- 予測困難なサイバーリスクと対峙するために、情報交換とならんで相互理解やプロフェッショナル人脈の重要性を説く

- 東京大学情報基盤センター、奈良先端科学技術大学院大学を経て現職  
フィッシング対策研究およびセキュリティ人材育成に従事
- 日欧国際共同研究プロジェクトに参画  
ビッグデータと機械学習をセキュリティ用途に応用し、海外からも注目を集める
- 欧米セキュリティ専門機関とともにサイバーセキュリティ国際標準化を推進  
国際電気通信連合電気通信標準化部門(ITU-T)においてフィッシング対策のための国際標準を成立

- 「開催概要」のページの「対象業界・対象者」に記載した受講条件に従って、参加者の所属や役職、担当職務により、グループ編成を行います。募集対象業界からの申込者数が少ない場合、所属業界以外と合同のグループになる場合がございます。予めご了承ください。
- 本演習は、グループワークによって、仮想企業における対策立案や意思決定を議論していただきます。業界別に熟議し、サイバーセキュリティに係る課題を整理するため、自社の状況をお話しいただくことがございます。受講者のご判断により、開示できる範囲でご対応ください。  
なお、会社の状況等、機微な内容は参加者限りとするため、本演習に参加する受講者、講師、その他関係者には秘密保持誓約書にご署名いただきます。
- 災害等のやむを得ない事情により、IPAの判断で演習実施を中止することがあります。その場合でも、実施日の振替は行いません。中止した場合には、受講できなかつた方へ受講料の返還等の措置を行います。ただし、演習中止に伴う受講できなかつた方の不便、費用、その他の個人的損害については何ら責任を負いません。
- その他詳細は、お申し込み後に別途ご連絡させていただきます。

# 募集期間とお申し込み方法

## 募集期間

令和8年度第1回業界別サイバーレジリエンス強化演習（2026年5月14日～15日開催）の募集期間は、**2026年4月10日（金）17時**まで、**入金は2026年4月24日（金）17時**までといたします。入金方法については、申込受付後、IPAから請求書をお送りしますので、銀行振込にてお支払ください。

※ 募集定員に到達し次第、募集を締め切りとさせていただきますので、お早めにお申し込みください。

## お申し込み方法

WEB上の受講申込書・事前ヒアリングシートに必要事項をご記入後、メールにてPDFをご送付ください。

※事前ヒアリングシートも提出が必須となります。受講される方ご本人がご回答ください。  
※お申し込みいただきましたら、担当者よりご連絡差し上げます。

## お申し込みURL

◆一般の方（登録セキスペの方が実践講習として申込まない場合も含む）はこちら

<https://www.ipa.go.jp/jinzai/ics/short-pgm/cyberrex/2026-1.html>

◆登録セキスペの方（実践講習）はこちら

<https://www.ipa.go.jp/jinzai/ics/short-pgm/cyberrex/riss-2026-1.html>

※原則として、お申し込み後の受講区分（一般／実践講習）の変更は受け付けておりません。

※原則として、納入後の受講料はキャンセルされる場合でも、返金はいたしかねますので予めご了承ください。

※受講料請求書は押印省略で発行いたします。押印希望の方は、お申し込み時にご連絡ください。

## お問い合わせ先

電話 : 03-5978-7554 (直通)  
※受付時間 : 平日 9:30-18:00

メールアドレス : [coe-promo-ap@ipa.go.jp](mailto:coe-promo-ap@ipa.go.jp)

担当者 : 鈴木 / 小宮 (お申し込みに関すること)  
: 稲田 / 小山 (演習内容に関すること)

### 【個人情報の取り扱いについて】

弊機構は、本プログラムのお申し込みのためにご提出いただいた個人情報の適切な管理に努めております。当該個人情報は、本プログラムを提供するために必要な範囲（事務処理および講師への当日受講者リストの配布等）で利用させていただきます。

個人情報保護についての詳細は下記URLからご確認ください。

<https://www.ipa.go.jp/privacy/index.html>

